

## 現状

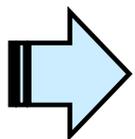
- 我が国の森林資源は充実しつつあり、林業・木材産業の構造転換も緒についていることから、**木材自給率は近年上昇傾向** (H14:18%→H22:26%)
- この動きを更に進めることは、我が国経済全体の再生に資するのみならず、農山村地域における**雇用創出、環境調和型社会の構築にも貢献**

(参考:我が国の森林資源の推移)



## 事業の必要性

- 我が国林業の構造転換を加速化し、成長産業として定着させるためには、**森林施業の集約化と路網整備に対する強力な政策努力が不可欠**
- このためには、森林は所有構造、傾斜、立地等**社会的自然的条件が多様**であることから、様々なパターンの**成功例を確立**し、広めていくことが不可欠
- また、森林の分布状況から、民有林の取組のみでは集約化や路網整備が進み難い箇所などについては、民有林と国有林とが連携して**共同で施業を行う取組**等も進めているところ



**先進的な取組を支援し、その成果を全国的に展開し、森林・林業の再生を加速化させることが必要**

## 事業のポイント

1. 施業を集約化し、**森林作業道等を高密度に配置する地域**などに対して、森林環境保全直接支援事業を重点的に支援
2. 上記と併せ、水源林造成事業や国有林森林整備事業を実施し、**民有林と国有林が連携した低コスト施業**の取組を推進

## 事業の効果



- ◇ 森林・林業の再生により、**新成長戦略に位置づけられている木材自給率50%の達成**
- ◇ 地域の**雇用の創出と、地域経済の活性化**に貢献
- ◇ 国際約束である森林吸収目標1300万炭素トン(3.8%)の達成